

【参考資料】

1 「令和8年春のヒグマ注意特別期間」について

期間：令和8年4月1日（水）～5月31日（日）の61日間

（1）概要

ヒグマによる人身被害の未然防止を図るため、平成14年度から、道民等が山菜採りやキノコ採りなどのため、ヒグマの生息する野山に入る機会の多くなる春と秋に、北海道ヒグマ注意報等発出実施要領に基づく注意喚起として、「ヒグマ注意特別期間」を設定し、普及啓発事業を実施。

（2）取組

「野山でヒグマに遭わないための基本的ルール」の普及啓発を図るための取組を実施。

<基本的なルール>

- 事前にヒグマの出没情報を確認する
- 単独行動を避け、複数で行動する
- 鈴など音の出るものを鳴らす
- クマの足跡やフンを見つけたら、すぐに引き返す

<取組>

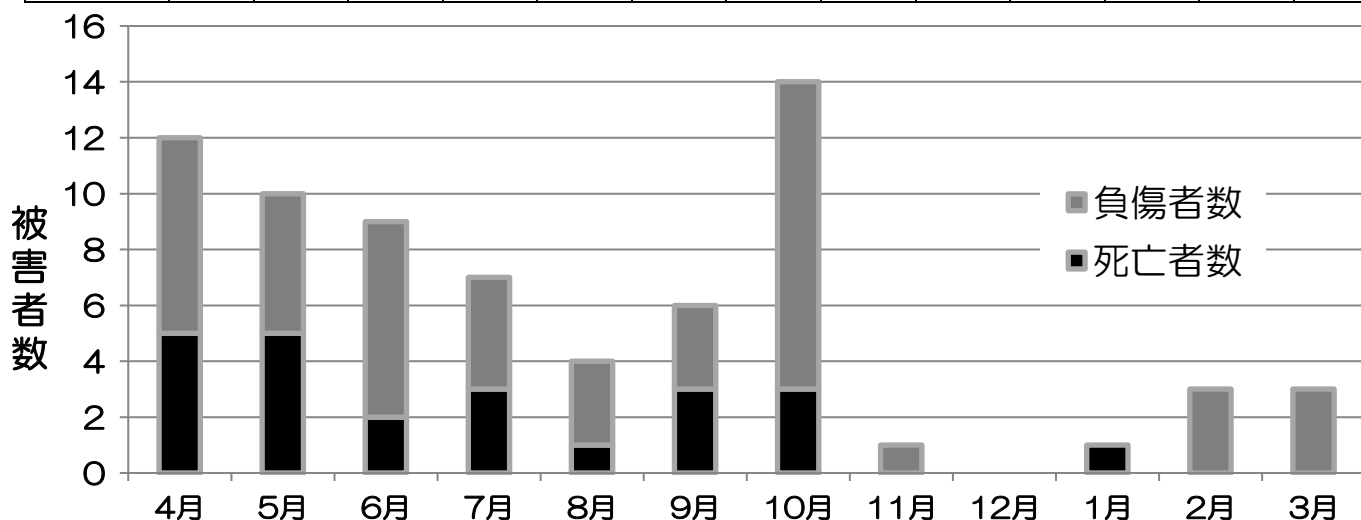
- 総合振興局・振興局職員による巡視活動
- 普及啓発リーフレットの配布
- 道のホームページで市町村のヒグマ出没情報サイトへのリンク集を掲載 など

2 ヒグマによる人身被害について（狩猟や駆除の際の事故を除く）

（1）月別被害者数（H1～R8年2月末現在の合計）

ヒグマによる人身被害は、特に春と秋に多く発生しています。これは、春は山菜採り、秋はキノコ採りなど、人間が山野に出かける機会が多い季節であることに加え、ヒグマも春は冬眠明けのために、秋は冬眠を控えてともに餌を求めてより活発に活動するため、人間とヒグマが遭遇する確率が高まることが原因と考えられています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
死亡者数	5	5	2	3	1	3	3	0	0	1	0	0	23
負傷者数	7	5	7	4	3	3	11	1	0	0	3	3	47
合計	12	10	9	7	3	6	14	1	0	1	3	3	70

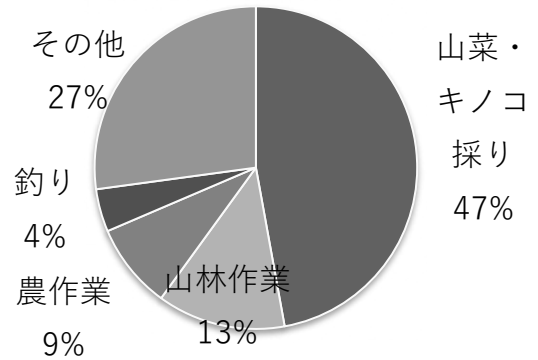


(2) 人身被害発生時の被害者の活動 (H1～R8年2月末現在の合計)

ヒグマによる人身被害発生時の被害者の活動をみると、山菜採り及びキノコ採りが半数を超え最も多く、山菜採りやキノコ採りは特に被害に遭いやすい野外活動といえます。

なお、人身被害の中で最も多いのは、ヒグマの捕獲に従事している際に、反撃を受けるなどして狩猟者が被害に遭うケースです。ただし、これらは特殊な状況下で発生する事例であるため、ここでは対象外としています。

被害者の活動	被害者数	内 訳	
		死亡	負傷
山菜・キノコ採り	33	14	19
山林作業	9	1	8
農作業	6	1	5
釣り	3	3	0
その他	19	4	15
合計	70	23	47



〔過去10年間 (H28～) の春 (4～5月) に発生した事故の概要 (狩猟や駆除の際の事故を除く) 〕

年度	発生日	被害者の活動	発生地	被害者	死傷
H29	4月16日	山菜採り	釧路管内標茶町	54歳男性	負傷
H30	4月20日	山菜採り	渡島管内函館市	66歳男性	負傷
	4月29日	山菜採り	根室管内中標津町	70歳男性	負傷
R2	5月8日	山菜採り	オホーツク管内滝上町	62歳男性	負傷
	5月15日	山菜採り	後志管内古平町	71歳男性	死亡
R3	4月10日	山菜採り	釧路管内厚岸町	60歳男性	死亡
R5	4月1日	散歩	釧路管内厚岸町	女性	負傷
	5月14日	釣り	上川管内幌加内町	54歳男性	死亡
R6	5月5日	山菜採り	日高管内浦河町	81歳男性	負傷

H28、R1～4、R7：被害なし